

2020年11月5日 OBPM ユーザー会

テーマ別トラックまとめ

3. 推進担当トラック

推進担当トラック【OBPM 推進担当向け】

ファシリテータ：阿部 太樹、小野 宗重

Q. OBPM の運用を定着化させるための各社での工夫は？

- 誰もがわかるマニュアルを、ユーザー目線で何十ページ作って、とにかく読ませる。質問があった時はマニュアルを見てもらうようにしている。

Q. マニュアルあまり見てくれない。どうやったら見てくれるか？

- PMO など、専門部門を作って監視し、マニュアルを率先して案内する。マネージャー/PM/PL/協力会社など、マニュアルは各立場で分けて作っている。

Q. PJ 終了時の報告会などについて、進め方が確立できないなかで、どうガイドに記載しているか？

- 完了報告会(反省会)を終了後 1 ヶ月以内実施。結果を OBPM の基本情報・完了報告の中に登録して、PJ が完了という扱いになる。金額規模に応じて可否を決定してもいいと思う。

ポイントとなるのは、完了報告会には PM・PL だけでなく PMO や部門長も入れることによって今後に活かせるようになる。年間を通して点数化して、PM・PL にコメントを書いてもらい、部内に展開している。(SI)

Q. リスト化は誰が実施しているか？

- PMO がやっている。
 - リスト化するまでに参照できる仕組みはあるか？
- PL などは自分で類似案件を探しに行ったりする。
 - 見ない人には言い続ける・発信し続ける。

Q. 各社の PMO はどうなっているか？(SI)

- PMO はあるが、マネージャークラスが集まって片手間にやっている。プロジェクトの見方がわかっておらず、指摘レベルにばらつきがある。
- PMO 専門部隊はなし。PJ 監視をどうするか悩み中。他社の事例聞きたい。ガントチャートがちゃんと更新されていないなど、運用を浸透させるのが難しい。
- 週に 1 度、金額が大きいものは監視。報告画面を使い、PL などに進捗遅延率などを説明させている。数字の見方がバラバラ…。各率を指摘してみたりしている。定性的な報告にもつつこみをいれている。
 - 報告・監視の指標が必要。全部が全部となると大変。(SI)

- 去年まで PMO 部に所属。「厄介な人」というイメージ。上から目線。
現場に踏み込んで、PM/PL を手伝わないといけない。
現在は PM/PL の立場で、助けてほしいときに PMO に上層部とのクッションになってもらう。頼りにしている。

Q. 計画の前後で差管理はどうしているか？ 自社は、事業会社のため、他社と利用の仕方が違うかも知れないが、メンバの工数の管理をメインで実施している。
システム開発の PJ を OBPM に登録して利用しており、コスト管理を主眼に置いている。計画通りに進むことはなく、基本的に変更が発生する。
計画変更後のスケジュールを組み込んだ場合、差分は OBPM で確認できない。
他社ではどう見ているのか？

- 工数の変化については測れない。
1つのタスクが大幅なリスクの場合、一旦 100%で終わらせて新規でタスクを追加して備考欄にコメントを入れている。元々こうだったけどどれだけ変更しますとか。
→ 工数はどのような扱いか？
- 実績工数は残して、差分を新しいタスクに乗せるなど。

Q. 1年前から導入し、1月から稼働。工数入力からスタート。

これから品質管理・リスク管理などを実施したい。
バグの集計なども始めたが、着眼点がよくわからない。

- 今は工程毎。終了時には全体も必要だと思う。全体になると工程ごとにはわからない。
→ テスト予定実績管理は結合テストではマスト。本当にテスト終わるの？がわかるようにバグ終息曲線を活用している。
単体テストは全部登録していなかった。現場に負担がかかるため。(SI)

Q. 2012年に導入、スモールスタートのまま今に至る。

メンバ異動が激しく、なかなか定着しない。
PB 曲線・ゾーン分析をつかって品質がどうかを見ているが、OBPM ではうまく見られない。クロスではなく、両方増えていってしまう。
他社ではどのように品質分析しているか？

- 導入でも苦労しているところ。意見として今後の参考にさせていただく。(SI)